

背景・課題

- 近年、大学等の高等教育機関を卒業した者のうち、進学せず未就職又は一時的な仕事に就いている者は10万人を超える水準で推移している。
- その一因として、中小企業の人材ニーズと学生の就職希望における大企業指向などのミスマッチ等が挙げられる。
- このミスマッチ解消のため、大学等におけるキャリア教育・就職支援の機能強化が不可欠。

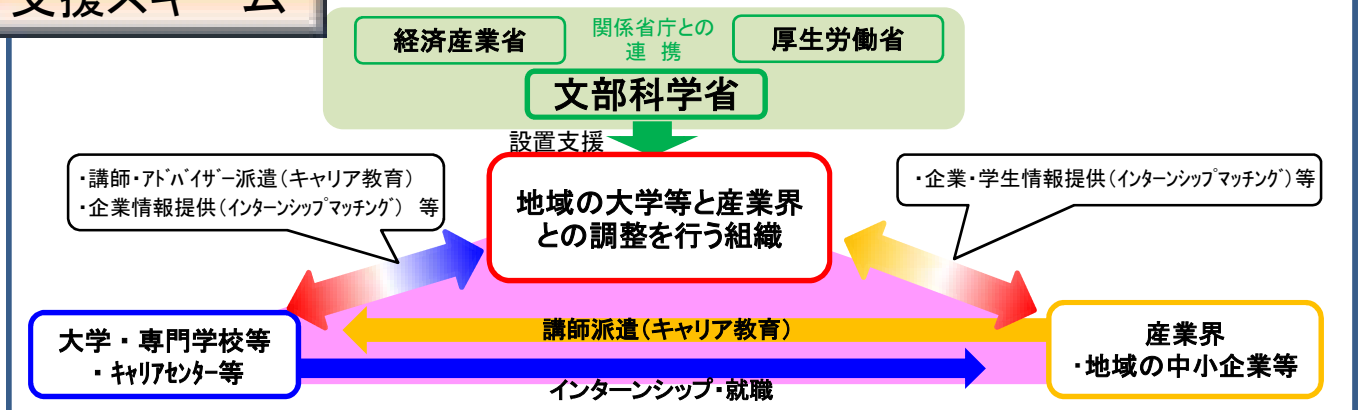
施策概要

- インターンシップのマッチングなど大学のキャリア教育や就職支援について、大学等と地域産業界の関係者から成る組織の活動を支援するとともに、地域にそのような組織がない場合は、経済団体等に組織化を促すなど設置を支援する。
- 学生の地域に根ざした職選びを総合的に支援するキャリア教育及び就職支援機能を強化する。
- もって、学生のキャリア教育から就職まで一貫して支援する体制を強化する。

組織の取組例

- 企業・学生情報の提供(インターンシップマッチング)、就職関連情報の提供
- インターンシップ受入れ企業の開拓・フォローアップ
- 学生に対するインターンシップ事前研修、大学・学生・企業の交流会の企画・運営等
- インターンシップコーディネーター等専門人材の派遣・育成
- 講師・アドバイザー派遣などキャリア教育への支援
- 大学等の実施するキャリアカウンセリング、就職相談等へのノウハウ・情報の提供 など

支援スキーム



(参考)これまでの地域での取組事例

- NPO法人G-net(コーディネーター)
 - ・岐阜、三重、名古屋でインターンシップを展開。岐阜大学等と協働してキャリア教育講座の開発も実施。
- 尾鷲商工会議所
 - ・尾鷲市内を中心に、商工会議所としては日本初となる「大学生の住み込み型」長期実践型インターンシップ事業を実施。地域の持つ資源・ポテンシャルと中小企業の課題・挑戦する若者をマッチング。
- 岐阜大学
 - ・1・2年生を対象として、1プロジェクトを数名のチームで担当する、地域商品のマーケティングリサーチ、販売経路開拓を行う地域協働インターンシッププロジェクトを実施。 など